

東日本大震災と私

作成者 T.R3

English

1, 地震当日私の体験 2011, 3, 11

私は、そのとき友達との帰り道だった。翌日12日は卒業式だったので、早めに学校が終わった。早く学校が終わったので、クラスのいつものメンバーで遊ぶ約束をしていた。そんないつもとあまり変わりのない、帰り道だった。

始め揺れている感じがしたので、貧血かと思った。そうして上を見ると電信柱の線が揺れていた。そこで私は初めて地震が来たことに気付いた。かなり長い間揺れが続いた。揺れが収まると、地域の人が家から出てきたのでかなり強いことを、再び自覚した。そこから歩くとクラスメイトと遭遇した。同じ方面に帰る人だったし、何より人数がいたほうが心強かったので、一緒に帰った。その友達から震源は宮城だと聞いた。私はとても心配した。なぜなら従兄弟が宮城に住んでいるからだ。帰る途中で、信号が止まっていたりしていた。まだ余震は続いた。だから家に着くまでは気が抜けなかった。

家に着くとみんながそろっていたので少し安心した。しかし、電気が止まっているので、情報源であるテレビも付かないので、地震の規模や詳しいことは分からなかった。そこでケータイとラジオで情報を得た。そこで今回の地震の規模の大きさを知った。正直、「こんなことが現実にかかるのか」と思うほどの光景だった。

停電は、翌日の午後8時位まで続いた。電気のない生活は本当に不便だった。そして、今回の震災が日本にもたらした被害は甚大なものになっている。

2, 地震後3ヶ月の私の動き

- ・ 家で使わなくなったランドセルや毛布などの支援物資に協力した
- ・ スーパーから物が消えた。同じ東北地方ということもあり、様々な物がお店に入っていない。また、ガソリンも同じだった。ガソリンは生活に欠かせない物だ。人々は買いだめにはしったと思う。なぜなら、今手に入っても次にいつ手に入るか分からないからだ。
- ・ 放射能については、様々な噂が飛び交った。また、政府の発言が二転・三転した事もあり政府への不信感は、高まった。また、それが原因で放射能の被害にあった人もいた。
- ・ たくさんの人が心に傷を負った。特に心配されているのは、赤ん坊～小学生ぐらいの年代だと思った。地震発生直後はスクールカウンセラーが被災地に派遣されたが、重要なのは、むしろこれからだと思ふ。これからも、継続していく事が重要だと思ふ。

3, 今私にできること

それは、「今を一生懸命に生きること」だと思う。節電などに取り組むことも大事だと思う。だが、今回の震災で命を落とされた方の分まで一生懸命生きることも重要な事だと思った。また、「この震災を後世に伝えていくこと。」この震災を忘れてはいけないと思った。また、この震災を教訓にまた同じ事が起こっても今回よりは、被害が小さくなるように願う。

英訳

Experiences of the earthquake on May 11, 2011

At that time, I was a way back to home with my friend. Because on the 12th (the next day) our graduation ceremony was planned, the school ended early.

I thought I got anemia when the shake occurred. The line on the utility pole shook when I looked up. The shake continued for a long time. Many people in the region came out from their house when the shake became strong. I noticed that it was considerably strong. I met with a classmate when I walked a little. She wanted to return to the same direction with me. And we walked together to assists each other. She said that the hypocenter was Miyagi. I worried very much. My cousin lived in Miyagi. The signal stopped on the way in return. The aftershock still continued. Therefore, I was not stale until arriving at the house.

Life without electricity was really inconvenient. And, this earthquake made serious damage to Japan.

My movement in these three months after the earthquake

- ・I cooperated to the support goods such as satchels and blankets not used at home.
- ・The goods disappeared from the supermarket. Lack of every thing in many shops occurred. Moreover, gasoline was also the same.
- ・Various rumors flitted about the radioactivity. The remarks of the government were changed so many times. The distrust to the government has risen.

・Many people got wounded to the mind.

What can I do now?

I think, it is "to live now hard". I think to cooperate to power saving is also important. However, I think that I should live strongly instead of the lives of persons dead in the disaster.

Moreover, I should "Pass on this earthquake to future generations". I wish that damage become smaller than this time even if the same thing happens again in future.



<http://ja.wikipedia.org/wiki/%E6%9D%B1%E6%97%A5%E6%9C%AC%E5%A4%A7%E9%9C%87%E7%81%BD>

↑地震の情報です。